

チケット(日時指定・全席自由)

各上演

大人 2,000円 中高生 500円
未就学児入場不可
※「白雪姫」のみ小学生～高校生 1,000円

一日通し券

(同じ日に限った3演目観劇セット券です。)
5,000円

シンポジウム

無料

ご予約

チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。料金はご来場時にお支払いください。※予約受付は6月21日(月)より
電話/0857-84-3268 ウェブ/www.birdtheatre.org 電子メール/ticket@birdtheatre.org

鳥取公演に関する問合せ

鳥の劇場

電話/0857-84-3268 ウェブ/www.birdtheatre.org 電子メール/info@birdtheatre.org

BeSeTo演劇祭に関する問合せ

第17回BeSeTo演劇祭実行委員会事務局

電話/03-3445-8011 ウェブ/www.beseto.org

【主催】特定非営利活動法人鳥の劇場 第17回BeSeTo演劇祭実行委員会 【共催】鳥の劇場運営委員会 【後援】株式会社みるさと園野 株式会社サラベル園野

上演をもっと多くの方に
楽しんでもいただくために



送迎します
JR浜村駅と劇場との間を車で
送迎いたします。(無料、要予約)



託児します
小さいお子さまをお預かりします。
(無料、要予約)



鳥のカフェがあります
上演の前夜にまるまるさんによる
焼きたてコーヒーや各種ソフトドリンク
などを販売いたします。



バリアフリーをめざします
障がいのある方にもご覧いただけるよう、
運営対策しております。ご遠慮ください。

会場へのアクセス

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話:0857-84-3268
公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします。(無料、要予約)
最寄りのJR浜村駅から劇場まで、車で約15分かかります。

●県内からお越しの場合

- JR
浜村駅を目指してください。
- 自動車
会場近くに案内看板を設置します。
鳥取市中心部から約30分
鳥取空港から約20分
倉吉市中心部から約45分
米子市中心部から約1時間30分

●県外からお越しの場合

- JR
鳥取駅を目指してください。京都・大阪からはスーパーはくどろ、岡山からはスーパーいなばが便利です。
鳥取駅から浜村駅までは、山陰本線の米子方面行きで約25分です。
- 高速バス
東京・大阪・神戸・京都・岡山・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。バスは鳥取駅前に着きます。JRで浜村駅までお越しください。
- 自動車
大阪から約2時間30分(中国自動車道使用IC～国道373号～鳥取自動車道～国道29号～国道9号)
京都から約3時間30分(国道9号)
岡山から約2時間30分(国道53号～鳥取自動車道～国道9号)
- 飛行機
東京・鳥取間を全日空が1日4往復運行しています。鳥取空港からは車で約20分です。
連絡バスで鳥取駅まで移動し、浜村駅までJRを利用するという方法もあります。

※ご宿泊について
鹿野温泉の源泉かけ流しのお宿です。
(劇場への送迎については直接、宿へご相談ください。)
□山紫苑 電話:0857-84-2211 www.sanshien.jp
□お宿夢彦 電話:0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp
□浜村ビューホテル 電話:0857-82-0531 www.hai.ne.jp/hamamura/



第17回

ベセト

BeSeTo

演劇祭

わたしたちは、海でつながっている。
おなじところ、ちがうところ。
ともにみる、ともにかたる、もっと知り合う。
ともに未来をかんがえる。



日本、中国、韓国
三つの国の演劇祭。
一日三連続上演の二日間。

鳥の劇場(鳥取県鳥取市鹿野町)

2010年7月24日(土)・25日(日)

「Wannabe」

俳優客【日本】×中国・韓国俳優
7月24日(土)・25日(日) 13:00～

「白雪姫」ーグリム童話「白雪姫」より

鳥の劇場【日本】×中国・韓国俳優
7月24日(土)・25日(日) 15:00～

「そんなに驚くな」

劇団コルモックル【韓国】
7月24日(土)・25日(日) 17:00～

シンポジウム「海でつながる、地域の未来」

7月24日(土) 19:30～

平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業



7月24日(土)・25日(日) 一日三連続上演の二日間。



【BeSeTo 演劇祭とは】

日本、中国、韓国の政府首脳が一堂に会することがまだなかった1994年、3カ国の芸術家の決断により創設された(BeSeTo演劇祭)は、先駆的な事業として驚きと注目を集めました。その後も、さまざまな政治外交上の曲折のなかにおいて、16年の長きにわたり継続し、演劇祭という枠組みを超え、いまや東アジアを代表する国際文化会議としての役割を担うに至っています。韓国の金義卿氏(韓国国際演劇協会会長:当時)が、中国の徐曉鐘氏(中国戯劇家協会副主席・国立中劇院演劇院院長:当時)と日本の鈴木忠志氏に呼びかけたことから立ち上げられ、3カ国による文化交流共同事業は、相互の文化の違いを認識しつつ、日中韓の芸術家が共同作業を行うことによって、芸術を核とする相互理解を促進するとともに世界文化への貢献を目指しています。

BeSeToとは、北京(Beijing)、ソウル(Seoul)、東京(Tokyo)の頭文字をとったもので、1994年のソウル開催以来、韓国・日本・中国の順に3カ国で開催されています。3年ごとに返ってくる日本開催の第1回(1995)と第2回(1998)は東京で、第3回(2001)には利賀、静岡が、第4回にはさらに鳥取が開催地に加わり、東京だけではなく全国規模で公演や関連企画を行うようになりました。

17回目にあたる今年は、6回目の日本開催となります。東京では新国立劇場、こまばアゴラ劇場、アトリエ春風舎、鳥取では鳥の劇場、静岡では静岡県舞台芸術公園を主会場として、日中韓俳優出演作品を含む9作品、72公演を行います。

【全開催日程】

新国立劇場【東京】7月2日(金)～18日(日)
 『陽春三月 行く者よ、去り行く者よ』【日本】
 『川劇 欲望の海』～オニール作『輪の物語の欲望より』【中国】
 『リア王』【韓国】
 『シラノ・ド・ベルジュラック』【日本】
 『東京ノート』【日本・日中韓】
 こまばアゴラ劇場【東京】7月1日(木)～19日(月・祝)
 『白雪姫』【日中韓】
 『霸王歌行 ～項羽、歌の真にのる』【中国】
 『そんなに驚くな』【韓国】
 アトリエ春風舎【東京】6月29日(火)～7月19日(月・祝)
 『Wannabe』【日中韓】
 静岡県舞台芸術公園【静岡】7月3日(土)・4日(日)
 『霸王歌行 ～項羽、歌の真にのる』【中国】
 鳥の劇場【鳥取】7月24日(土)・25日(日)
 『Wannabe』【日中韓】
 『白雪姫』【日中韓】
 『そんなに驚くな』【韓国】

BeSeTo演劇祭国際委員会

【顧問】	鈴木忠志 徐曉鐘 金義卿
【日本BeSeTo委員会】	代表 平田オリザ 演出家・劇作家/青年団 主宰 委員 菅 孝行 演劇評論家 委員 重政良基 プロデューサー/SCOT 委員 中島諒人 演出家/鳥の劇場 主宰
【中国BeSeTo委員会】	代表 李 国平 演劇評論家/中国戯劇家協会 秘書長 委員 王 曉麗 演出家/中国戯劇家協会 副主席/中国国際演劇院 副院長 委員 李 華芸 中国戯劇家協会 国際部主任
【韓国BeSeTo委員会】	代表 具 滋英 国立明洞芸術劇場 館長 委員 辛 一秀 国立芸術資料院 理事長 委員 吳 秀卿 漢陽大学中国語中国文学科 教授 委員 李 惠貞 韓国中央大学演劇学科 兼任教授

13:00～ 両日

【日中韓共同制作作品(日本公募)】

今回のBeSeTo演劇祭のために公募し、この作品が選ばれました。タイトルは、“あこがれ”を意味しています。国籍を超えて人がふれあうことについて考える作品です。日本、中国、韓国の俳優が出演します。東京での約一カ月公演で磨き上げた作品が、しかの心によって来ます。

しかの心

柿喰う客国際演劇交流プロジェクト2010

『Wannabe』

柿喰う客【日本】×中国・韓国俳優

作・演出:中屋敷法仁

作品のあらすじ

—アジアから遠く離れた“ガイコク”で出会った日本・中国・韓国の若者たち。彼らは一体、何者なのか。そして一体、何者になりたいのか—
 日中韓の若手俳優、夢の競演!異文化コミュニケーションの新たな姿を描く意欲作!
 3カ国語+αが飛び出す多言語カタコト口語演劇、ここに登場!

柿喰う客/2004年活動開始。演劇の虚構性を重視し、「圧倒的なフィクション」の創作を続ける。虚構性の高い発話法・演技法を追求し、人間存在の本質をシニカルに描く。国内ツアーや海外公演など、精力的な活動を続ける。



15:00～ 両日

【日中韓共同制作作品】

グリム童話の世界をそのままに舞台化した作品です。観る者の想像力に訴える、演劇の醍醐味にあふれた舞台です。子どもだけでなく大人にも好評です。今回は、白雪姫に中国の俳優、王子に韓国の俳優を迎えて、日中韓3カ国版で上演します。

しかの心

『白雪姫』～グリム童話『白雪姫』より

鳥の劇場【日本】×中国・韓国俳優

構成・演出:中島諒人

鳥の劇場/演出家・中島諒人を中心に、2006年に設立。鳥取県鳥取市西野町の使われなくなった幼稚園と小学校の体育館を拠点に活動。「鳥の劇場」という名前は、劇団の名でもあり、場の名でもある。現代劇の創作・上演だけでなく、地域の文化拠点としての劇場作り、劇場運営、教育・普及活動にも力を注ぐ。公共の場としての劇場のあり方を常に模索している。



撮影:田中良子

17:00～ 両日

【韓国招聘作品】

韓国の現代劇を代表する作品です。2009年に初演され、奇抜な発想、演出の冴え、俳優の演技が話題となりました。古いアパートの一室が舞台。あふれる濃厚な生活感が、演劇の魅力と韓国の現在を伝えてくれます。

しかの心

『そんなに驚くな』

劇団コルモッキル【韓国】

作・演出:バク・グニョン

作品のあらすじ

映画監督を夢見る夫と生活を支えるためにカラオケ・スナックで働く妻。夫の父は、友人の葬式で、家出した妻の喪服姿を見てショックで自殺する。しかし家族は父の死体のそばで何事もなかったかのように暮らし続ける。何が起きても置いとつ動かないとんでもない時代を生きる人間たちの、ほろ苦く、おかしく、そして悲しい物語。

劇団コルモッキル/劇作家・演出家バク・グニョンを中心に1999年に結成。旗揚げ公演として上演された『青春礼讃』は、その年のあらゆる演劇賞を総なめにし、一躍人気劇団に成長した。「コルモッキル」は、「路地、裏通り」を意味する韓国語。路地には、人々の思い出、暮らし、うしなわれた情緒、郷愁などが染みついている。散歩している途中で偶然通りかかった家の庭先で起こるような庶民の日常の物語を、飄々としたユーモアを交え、淡々と、しかし時に度肝を抜くほど大胆に描く。



19:30～ 7月24日(土)のみ

しかの心

シンポジウム『海でつながる、地域の未来』

鳥取県は、かつて大陸との交流の窓口でした。多くの文化がこの地を通って日本に入りました。21世紀の今、海をはさんで中国、韓国の近くに暮らす私たちが、もっと普通にビジネスや観光で交流するにはどうしたらいいのでしょうか。また、そのために芸術文化にできることは何でしょうか。

環日本海の交流を推進する鳥取県知事平井伸治氏、中国、韓国での実績も多い平田オリザ氏を中心に、両国でのビジネス経験の豊富な一村剛氏、山根大樹氏らと、鳥取と中国、韓国の交流の未来を語ります。

パネリスト:平井伸治(鳥取県知事)

平田オリザ(劇作家・演出家)

一村剛(山陰合同銀行証券国際部アジアデスク勤務)

山根大樹(Trees Co.,Ltd 代表)

司 会:中島諒人(演出家・鳥の劇場主宰)

